

### 第3回 いわき市復旧・復興計画検討委員会 議事要旨

I 開催日時：平成23年10月21日（金）13：00～15：00

II 開催場所：文化センター 4階 大会議室

III 出席者

#### 1 検討市民委員会委員（五十音順、敬称略）

職 名 等		氏 名	出 欠
いわき地区商工会連絡協議会	会長	猪狩 正明	出席
東日本国際大学	福祉環境学部 教授	遠藤 寿海	出席
いわき観光まちづくりビューロー	理事	小井戸 英典	出席
いわき市農業協同組合	経営委員会会長	甲高 光	欠席
社会福祉法人いわき市社会福祉協議会	常務理事	強口 暢子	出席
福島工業高等専門学校	建設環境工学科 准教授	齊藤 充弘	出席
いわき女性交流ネットワーク	代表	園部 早由里	出席
いわき商工会議所	議員	武田 友紀	出席
いわき市森林組合	代表理事組合長	根本 藏	出席
福島県漁業協同組合連合会	代表理事会長	野崎 哲	欠席
いわき市PTA連絡協議会	母親委員会委員長	芳賀 敦子	出席
いわき明星大学	科学技術学部 教授	東 之弘	欠席
社団法人いわき市医師会	副会長	松崎 博光	出席
いわき地域環境科学会	事務局長	山田 貴浩	出席
社団法人いわき青年会議所	グランドデザイン策定特別会議議長	渡辺 大輔	出席
いわき市行政嘱託員（区長）連絡協議会	会長	渡邊 俊克	出席

## 2 事務局出席者

職 名 等		氏 名	
副市長		伊東 正晃	
行政経営部	部長	大和田 正人	
	次長	阿部 直美	
	次長	佐藤 克房	
	復興支援室長	園部 衛	
	危機管理課長	緑川 伸幸	
	行政経営課長補佐	緒方 勝也	
	行政経営課	係長	木田 努
		主査	中根 政敏
事務主任		折笠 雄司	
復興支援室	主任主査	寺島 範行	

## IV 次第

### ○ 第3回会議

- 1 開会
- 2 議事
  - 市復興ビジョンに基づく具体的な取組み等について
- 3 その他
- 4 閉会

## V 主な内容

### (1) 市復興ビジョンに基づく具体的な取組み等について

<質疑>

(委員) 広報などもやっていると思うが、市は情報発信が遅れている。もう少しアピールの仕方を工夫し、情報発信力を目立つようにしては如何か。(放射線問題など)

(委員) 緊急時の安否確認の方法。携帯が繋がらない。国も関係する課題である。バンド幅を狭めている。

下水道の拡大などインフラ整備は、このままやるのか。合併処理浄化槽の比重を高めるべき。(一旦は下水道をやめて、予算を復興へ再配分すべき)  
産業の裾野を広げる取組みが必要である。

(委員) 以前提案した「セシウムの買取制度」は本気で実施すべきと考えている。

放射線については、あぶないのはあぶないが、特に内部被曝に留意すべき。安全対策の広報が不足している。また、イメージ戦略もない。風評ではなく、実害を受けている。腰がすわらない対応であると思う。

10年以上たてば、超高齢化となる。若者流出も著しい。

山林整備もアレルギーと花粉症対策にもなる。(結果医療費の抑制にもなる)一つのモデル地区にもなるのではないか。

土地が欲しい人が多いため、市内の土地は高騰する。

様々な面で、行政は足を引っ張らないで欲しい。

以前提案した「電気代の無料化」も本気で実施すべきと考えている。

農協、漁協は壊滅的で実質T P Pが導入されたに等しい。

観光分野では、旅館はやっていけなくなっている。(経営者も悲観的である)

相馬では、介護認定が5倍になった。特老の整備を県は認めない。旅館を介護施設等に転用するとかできないか。

新舞子海岸も防波堤を高くすると観光道路としての機能が喪失してしまうのではないか。

カジノ構想について、いわき市は何も言わないのか。ハワイアンズとの連携などもあるのではないか。競輪場も戦後復興でつくった歴史がある。今回も復興競輪の開催などで本市復興を支援すべきである。

(委員) 経営している旅館を高齢者の施設にするか悩んでいる。子ども連れのお客さんがこない。

是非ともカジノ特区を図るべきである。健全なカジノを目指し、税収増を図り、復興財源化とすべきである。

(委員) カジノ特区については、絶好のチャンスである。交流人口の拡大のためにも必要である。(いずれ、どこか他の地区で実施してしまう)

(委員) カジノ特区については、J Cでも検討している。インパクトのある復興の取り組みが欲しい。

(委員) 放射性物質の国際基準となるようにベクレル基準を低くすべき。(500bq⇒40bq) 本音でやるべき。また、生活者の安堵感を増すような取り組みが必要である。

(委員) 放射性物質の不検出についても、0、少ない、多いのに分けて、明確に広報すべきである。

(委員) 医療の問題は、仮設住宅の方も含めれば対応できるのか。開業医のネットワークの再構築も必要ではないか。

(委員) 医者がこない状況。ずっと医師の招聘活動等をしているが。医師会の人材バンクもあるが、国等から助成等がなかった。

(委員) 医療の一番の問題は何か。医師会はビジョンを持っているのか。(医師会自らも考えるべきではないか。)

地域医療問題に関しては、市民意識の改革も必要である。

医師招聘を含む医療水準の向上は、デパートの有無、子弟の教育環境レベルなどトータル的な課題認識が必要である。

(委員) 日赤病院に携わっているが、只今ご指摘のような課題は確かにある。

(委員) 9月あたりから増えてきたが、震災対応の激務等により、うつになる行政職員も多いようである。今後の復興をとげるにあたっては、定年退職職員の有効活用も必要ではないか。

民間にまる投げする分野もあるのではないか。復興期には、直接、民間と行政との話し合いで決めてもよいのではないか。

(委員) 湯本の旅館は、ほとんどが原発作業員やボランティアが利用している状況にある。社会福祉協議会にも双葉8町村からの依頼もある。(空いている旅館の有効活用等)

(委員) 国体がスポーツ振興に寄与してきた。スポーツ・文化活動は、交流人口拡大につながる。スポーツ施設の整備も充実させて、本市でも大きな大会を開催すべき。

(委員) PTAとの教育懇談会があった。学校での除染もしている。しかし、情報発信が必要である。各学校にもモニタリングポストの設置の動向や、数値として保護者に説明すべき。0.3 $\mu$ S/hを基準にしているが、「0.29」「0.27」ならどうなのかななどの説明が必要。久之浜地区の小中学校が、戻ったが、その後の課題なども多々ある。

(委員) 市の基準で安全なのか。正直な数字(モニタリング調査結果)を出して欲しい。(川前地区には、川内に近いところもある)

森林の除染はどうするのか。年を越すと、来春の花粉症対策の問題もある。

いわき市で入山禁止のところはない。(5月まで久之浜地区の一部で入山禁止があったが)

放射線対策についての各支所でのサービスも必要。

除染後の土壌等の処理は、各地域で押しつけあうのではなく、自分の地域で出したものは、自分の地域で処理すべきである。(側溝からの汚泥等は共有地に処分すべき)

(委員) 若い人を守る政策と高齢者の政策を区分し、優先区分を考慮すべき。(市として腹をすえるべき)

(委員長) いわきを明るくしたい。前を向くために必要な観点から皆さんの意見を出して欲しい。

(委員) 子どもを支える政策として、子ども手当を独自につくる。移住手当とか、市内に定住しただけでバックアップする政策を構築すべき。

(委員) 子ども手当は、他市町村との差別化が必要。  
復興財源の確保は具体的にどのようなことを想定しているのか。

(事務局) 市募債や不要な土地等の財産売却などである。

(委員) 大学等に進学する世代に対して戻ってくるように呼びかける必要がある。若い人たちに対するメッセージが少ない。一体何をしようとしているのかみえない。  
いわき駅前から鹿島街道への大動脈の賑わい創出に取り組むとか。

(委員) ふるさと愛着が必要。アリオスとか立派なものできたが、若者は一体どこにいつているのか。若者を街中にもどすため、まず、金をかけずになんでもやってみようではないか。

(委員) サテライト高校も市内にできている。ここに通っている子は、従前、いわきに遊びにきていた子どもも多い。市内にウエルカムすべきではないか。

(委員) カジノ特区については積極的に検討すべきである。

日産のいわき工場再開時に、カルロスゴーンが来たのはインパクトがあった。F1で優勝した車が日産のいわき工場とゆかりがあり、小名浜港でこのF1を走行させてみるとか、このようなイベント誘致もあるのではないか。

(委員) JRいわき駅に復興祈念館を整備してはどうか。各地からの集客も臨める。

岩間の火力増設なども支援すべき。市内3大学等に入学する学生の入学金免除を行い、国が支援することなどできないか。

営業停止中のゴルフ場に、被災地の集落ごとに移転してもらうのも一つの手法である。

(委員) サンシャインマラソンは、復興に向けての絶好の機会であり、是非とも成功させましょう。

(委員) 双葉8町村の避難者の方々との調整が必要である。受け入れを明記しては如何か。一定地域内でまちをつくるとか、社会福祉協議会やNPOなどとの連携によるまちづくりも必要である。

(委員) 社会福祉協議会では、市から委託されている事業には、双葉8町村の避難者の方々も受け入れて対応している状況にある。

(委員) 双葉8町村への広報PR方法はあるのか。

(委員) 社会福祉協議会では、広報活動をしている。

(委員) 双葉8町村の避難者に対しては、準市民として市民サービスを提供しては如何か。